

長岡工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	英語ⅡB	
科目基礎情報							
科目番号	0034			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	環境都市工学科			対象学年	2		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	「Be English Expression I」 (いいずな), workbook, 「Departure English Expression I」 (大修館), 「Q:Skills for Success 2」 (Oxford), 「速読速聴・英単語」 (Z会)						
担当教員	占部 昌蔵						
到達目標							
(科目コード: 10306英語名: EnglishⅡB) この科目は長岡高専の学習・教育目標の(B)と主体的に関わる。 この科目の到達目標と、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。 ①コミュニケーションに必要な英文法の基礎事項を習得する。40%(b3) ②基本的な英単語の意味の認識、綴りや発音が正確に行える。30%(b3) ③既習文法を使用して、簡単な英作文ができる。30%(b3)							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安		未到達レベルの目安
英文法に関する知識	コミュニケーションに必要な英文法の基礎事項を理解し、運用できる		コミュニケーションに必要な英文法の基礎事項を理解している		コミュニケーションに必要な英文法の基礎事項を概ね理解している		左記に達していない
語彙に関する知識	基本的な英単語の意味の認識、綴りや発音が正確に行える		基本的な英単語の意味の認識、綴りや発音が行える		基本的な英単語の意味の認識、綴りや発音を概ね理解している		左記に達していない
英作文	既習文法を使用して、英作文ができる		既習文法を使用して、簡単な英作文ができる		既習文法を使用して、簡単な英作文が概ねできる		左記に達していない
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	1年次に学習した文法事項の定着をはかる。ライティングでは、センテンスレベルから始め、次第にパラグラフレベルへと発展させていく。また、英単語の習得と定着をはかる。 ○関連する科目: : 英語ⅠA (前年度履修), 英語ⅢA (次年度履修), 英語ⅠB (前年度履修), 英語ⅢB (次年度履修)						
授業の進め方・方法	次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。 ● 定期試験 (30%) 【内訳: 後期中間15, 後期末15】 ● その他の試験 (20%) 【単語テスト, その他のテスト】 ● 授業に取り組む態度&課題など (50%)						
注意点	外国語の習得には、日々の学習の積み重ねが大切です。予習・復習を習慣化していくこと。積極的に英和辞典・和英辞典等の辞書を使用すること。授業を欠席することは即学習の遅れにつながるため、欠席した場合は「欠席届」を提出するとともに、遅れを取り戻すための対策を自ら講じ、必ず実行すること。 本科目は本来、面接授業として実施を予定していたものであるが、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態において、必要に応じ遠隔授業として実施するものである。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Introduction, Be I Lesson Lesson 20			授業の目的を理解し、左記の内容を理解する	
		2週	Be I Lesson Lesson 21			左記の内容を理解する	
		3週	Departure I Lesson 2			左記の内容を理解する	
		4週	Departure I Lesson 4			左記の内容を理解する	
		5週	Departure I Lesson 14			左記の内容を理解する	
		6週	Review			英文法の知識と語彙を定着させる	
		7週	Departure I Lesson 11			左記の内容を理解する	
		8週	Be I Lesson Lesson 22			左記の内容を理解する	
	2ndQ	9週	Be I Lesson Lesson 23			左記の内容を理解する	
		10週	Departure I Lesson 7			左記の内容を理解する	
		11週	Q:Skills for Success 2 Unit 1			左記の内容を理解する	
		12週	Q:Skills for Success 2 Unit 1			左記の内容を理解する	
		13週	Q:Skills for Success 2 Unit 1			左記の内容を理解する、既習文法を用いて英作文を行う	
		14週	Review			英文法の知識と語彙を定着させる	
		15週	Review			英文法の知識と語彙を定着させる	
		16週					
後期	3rdQ	1週	TOEIC Bridge Test			自身の英語力を認識する	
		2週	Be I Lesson Lesson 24			左記の内容を理解する	
		3週	Be I Lesson Lesson 25			左記の内容を理解する	
		4週	Q:Skills for Success 2 Unit 2			左記の内容を理解する	
		5週	Q:Skills for Success 2 Unit 2			左記の内容を理解する	
		6週	Q:Skills for Success 2 Unit 2			左記の内容を理解する、既習文法を用いて英作文を行う	
		7週	後期中間試験			試験時間: 50分	
		8週	試験解説、Departure I Lesson 9			左記の内容を理解する	
	4thQ	9週	Departure I Lesson 20			左記の内容を理解する	

	10週	Q:Skills for Success 2 Unit 3	左記の内容を理解する
	11週	Q:Skills for Success 2 Unit 3	左記の内容を理解する
	12週	Q:Skills for Success 2 Unit 3	左記の内容を理解する、既習文法を用いて英作文を行う
	13週	Be workbook Plus 5,6,7,8	左記の内容を理解する
	14週	Review	英文法の知識と語彙を定着させる
	15週	Review	英文法の知識と語彙を定着させる
	16週	学年末試験	試験時間：50分
	17週	試験解説・発展授業	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語運用の基礎となる知識	明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2
			中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2
			中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後7,後15
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1
		英語運用能力向上のための学習	関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16

評価割合

	前期試験（中間）	前期試験（期末）	後期試験（中間）	後期試験（学年末）	その他の試験	提出物等	合計
総合評価割合	0	0	15	15	20	50	100
基礎的能力	0	0	15	15	20	50	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0